

秋田市教育委員会 会 議 録

令和 3 年 1 2 月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和3年12月定例会会議録

1 日 時 令和3年12月24日(金曜日)
午後3時30分～午後5時20分

2 場 所 5－A会議室

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
学事課長
学校教育課長
文化振興課長
スポーツ振興課長
教職員室長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
総務課参事
総務課長補佐
総務課副参事
生涯学習室長補佐
生涯学習室副参事
学事課副参事
教育研究所副所長
学校適正配置推進室副参事
総務課主席主査
文化振興課主席主査
スポーツ振興課主席主査
総務課主査
教職員室主査
教育研究所主査
総務課主任

5 議 題

【協議事項】

- (1) 第2次秋田市文化振興ビジョン（原案）について
- (2) 第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン（原案）について
- (3) 令和3年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について
- (4) 令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について

【教育長等の報告】

- (1) 令和3年度11月市議会定例会の審議状況について
- (2) 新たな学校安全の取組について
- (3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (4) 令和3年度「新成人のつどい」の警備について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和3年11月定例会会議録の承認】

令和3年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回の会議録の署名委員として2名の委員を指名した。

【協議事項】

- (1) 第2次秋田市文化振興ビジョン（原案）について

教育長 協議事項(1)「第2次秋田市文化振興ビジョン（原案）について」、事務局から説明願う。

文化振興課長 (資料に基づき説明)

教育長 文化・芸術活動の担い手育成に関してだが、教育機関との連携や児童・生徒の育成などについては、実際の個別の事業は事業計画の中で定めるものと思うが、新たな文化振興ビジョンを作成する上で、イメージとして考えている取組があれば教えていただきたい。

文化振興課長 当市は、地域行事や伝統芸能が盛んな地域であると考えてお

り、学校教育の中で、地域の祭や山谷番楽等の伝統芸能を取り入れていただけるような取組が期待されると考えている。

教育長 そのような活動への支援があると、より学校も取り入れ易いものと感じた。

文化振興課長 現在、文化財の地域計画を策定中であり、地域の文化財をいかに教育や観光に生かしていくのかを検討している。その中で教育との連携についても検討したいと考えている。

委員 13ページの本市の博物館等の数についてだが、当市は多い方だと再認識した。様々な分野の施設がある中、特に科学の分野が特徴的であると感じた。秋田は土地柄奥まった地域にあるため、歴史や文化が残っているものと感じてはいたが、科学の部分も充実しているため、より施設も利用されていくべきと感じた。

秋田の食文化について考えると、土崎の祭など、地域の祭に、食が関わっているものが数多くあり、正月には年末の「年取りの膳」という文化が残っている地域もある。秋田には食に関する良い文化が多く残されているため、子どもたちが秋田の食文化についても誇りに思えるように育って欲しいと思った。

文化振興課長 文化創造館のオープニングイベントとして「200年をたがやす」というテーマのもと、半年ほど企画展をやってきたが、その中でも「食」を大きなテーマと捉えた。食についても、これまで継承し積み上げてきたものが、文化そのものである。教育の現場はもちろん、市民の文化活動においても食というものを文化として捉えたいと考えている。

委員 担い手育成に係る学校との連携についてだが、重点施策3の事業推進の主な視点に、児童・生徒が地域の文化財を知り、郷土への愛着を育むための機会の充実とある。このようなところが具体的に設定されていくと学校としても、故郷にどのような伝統や歴史があるかを知る、どのような文化財があるかを知る、という機会を作ることができると思うので、担い手育成に有効であると感じた。

博物館や美術館の利用案内などが学校に届くが、例えば SNS を利用した情報発信などの予定はあるのか。

文化振興課長 SNS、あるいはユーチューブ等のデジタル技術をこれまで以上に活用していければと考えている。

教育との連携についてだが、これまでも出前授業という形で行ってきたが、今後も文化活動のアウトリーチ事業として、学校まで出て行く、地域まで出て行くといったことが、より重視されると考えている。今後もこういったアウトリーチについて積極的に展開していきたい。

委員 デジタル技術の活用についてだが、指導者や専門家を直接目の前にして、祭りの踊りを習うこと等も非常に大切なことだが、時間の調整ができず直接会うことができない場合がある。今後はユーチューブを利用したり、一人1台利用できるタブレットがあるため、いつでも誰でもどこでも見られるような、そういう資料や教材作りが今後大事になってくると思う。特に竿燈や土崎の祭はメジャーであるため、記録映像が多く残っているが、地方へ行くと、地区の祭の記録は残っていない。このようなものも細かく記録をしながら、例えば秋田市のユーチューブチャンネルにアップするなど、そういう情報発信がこれからの時代に特に必要ではないかと思う。

文化振興課長 例えば、昨年秋田市の指定文化財として新たに三皇熊野神社の獅子舞行事を指定したところであり、一時期途絶えていたものの、戦後に復活して以降、綿々と続いてきたことに注目して文化財に指定したところである。このような何もしなければ無くなってしまう地域の行事は数多くあると思う。ご指摘のとおり、こういったものをデジタルでアーカイブしていくというのは、非常に重要な行政の役割であろうと考えている。ただ労力と金銭的なことが必要になるため、すぐに解決できることではないが、重要な課題と捉えており、解決策について検討していきたいと考えている。

教育長 小学生用の教材として、タブレットでいつでも見れるような

状況であれば素晴らしいと感じた。

委員 文化会館の閉館や佐竹史料館の改築など、文化振興ビジョンに沿った内容や展示となるものと思う。関係各所と連携を取り、対応していくようお願いしたい。

文化振興課長 佐竹史料館の改築については、来年の6月に一時的に閉館し、2年間かけて新しい佐竹史料館を準備していく予定で進めている。ご指摘のとおり佐竹史料館の改築についてもビジョンを踏まえながら、デジタル技術の活用や教育との連携を十分に踏まえた展示になるよう、これから検討していくという状態である。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン（原案）について

教育長 協議事項(2)「第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン（原案）について」、事務局から説明願う。

スポーツ振興課長 (資料に基づき説明)

委員 総合型地域スポーツクラブについてだが、秋田市に12もあるということで、予想より数多くあり、子どもたちの体力向上や運動に親しむという点では良いことだと思った。クラブの内容や支援について詳しく教えて欲しい。

スポーツ振興課長 スポーツ少年団とは異なり、単独の競技に特化したものではなく、地元の体育協会やスポーツ推進委員などの協力のもと、子どもから大人まで様々なスポーツをしているものである。クラブに関する事業は県が取り仕切っているが、県主催の講習会等には、当課職員も参加し情報提供等している。今後も総合型地域スポーツクラブに係る事業を支援していければと思っている。

委員 秋田市等が主催するスポーツ・レクリエーション行事についてだが、参加しなかった理由に「そのような行事を知らなかった」が42.5%もあり、上手く周知しなければならないと感じた。友人同士で同じスポーツが好きかということそうでもない

場合もあり、個人でも参加しやすいような支援の充実を是非行っていたきたい。

スポーツ振興課長 委員の指摘については、課題であると捉えている。ホームページをはじめ、デジタル技術を有効に活用しながら、よりきめ細やかに伝えられるよう努めていく。

委員 本市のスポーツをめぐる状況は、ここ10年から15年ほどで相当様々なことが新しくなっている。特にプロスポーツに触れる機会が増え、バスケットやサッカー、ラグビーなどプロのクラブチームができ、スポーツを志す、あるいは憧れる子どもたちにとって、良い環境になっているのではないかと感じている。バドミントンは世界レベルであり、より企業と連携を密にし、子どもたちが憧れの選手と一緒にプレーできる機会を多く作っていったらいいのではないかと思う。

スポーツ振興課長 お話のとおり、本市にも世界レベルで活躍する選手やチームがあり、選手たちには出前授業や講演等をとおして普及活動をしていただいている。引き続き各チームや企業の方々と連携しながら子どもたちとの交流の機会作りを進めていきたいと考えている。

委員 今年オリンピック、パラリンピックがあったため、障害者スポーツについても理解が深まったのではないかと感じている。障害者スポーツの理解を深める取組についても進めていただければ思う。

スポーツ振興課長 パラリンピックも日本選手の大活躍でかなり盛り上がった。本市としても県の障害者スポーツ協会と連携を取りながら、講演会等を企画し普及に関する事業を進めている。市立体育館ではボッチャの器具を貸し出しているが、貸出し数もかなり増えてきている状況にある。

教育長 指導者、リーダーの育成支援についてであるが、先ほど総合型地域スポーツクラブの話があった。また、スポーツ少年団の支援等もあると思うが、ちょうど伸び盛りの思春期の頃のスポーツは、現在、学校体育が多くを担っている現状にある。部活

動に関しては、少子化で学校が減少していくと種目が選べないなどの影響も出てきている。一方で、教員の働き方改革を進める中で、文部科学省は中学校の部活動の指導は地域で行う、という方向性を出している。

このような状況において、今後の話になるが、教育委員会とスポーツ振興課が連携して指導者を育成していくことがさらに重要になっていくと思うがどうか。

スポーツ振興課長 学校教育課の外部指導員に関する事業や、スポーツ振興課のスポーツ推進委員の制度等により、これからも地域の方々の力をお借りしていくほか、指導者の育成については、地区体育協会等とも連携して対応しなければいけないと思う。

教育長 指導者を探すことと同時に、各世代への指導ができる方々の育成が図られていくことが望ましいと思う。

※ 協議事項(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 令和3年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 協議事項(3)「令和3年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について」、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

委員 学校訪問で感じたことは、タブレットを利用した授業を進めている学校と、そうでない学校と二極化しているように感じた。学校によって差がないようにしないといけないと思う。

食育に関しては、食に関する授業のほか、専門家の取組が展示されていたり、食育に関する子どもたちの掲示物があったりと取組が進んでいるという印象であった。

全体的な印象としては、子どもたちが穏やかでしっかり勉強に取り組んでいる姿が見受けられた。可能であれば、より時間をかけて授業の様子等を見たいと思った。

学校教育課長 ICTの活用について、委員のご指摘のとおり学校によって差があるという認識である。先日の校長会においても、学校間

で差が出てはいけないので、より活用できるようにという話を共有したところであった。特に今年はタブレット配布した初年度ということもあり、教育委員会として学校を支援していくため、活用メニューを用意したり、操作研修で学校を回ったりした。学校毎にニーズが異なることもあり、学校のニーズに応じた校内研修をバックアップできればということで様々な案を練っているところである。

委員

学校訪問で感じたのは、本市の子どもたちは挨拶が素晴らしいことである。普段からの生活態度やお客様に対する姿勢がしっかりと身に付いていると思った。また、ここ数年で若い先生が増えたようだが、ベテランの先生のバックアップにより、しっかりとフォローされた授業が多く見られた。

I C Tの関係だが、学校によってばらつきがあり、I C Tの取組を見れない学校もあった。教育委員会でバックアップしていくとのことであるため、来年度以降は、他県等がどのような取組をしているか情報収集をするなど、取り入れるべきところは取り入れて充実を図ってほしいと思った。操作を覚える早さに関しては、大人より子どもたちの方が上だと思うが、情報モラル等について、しっかりと教えてあげればよいと思う。

最後だが、一番印象的だったのは、小学校のエアコンの導入により劇的に環境が良くなったということである。来年度は中学校が導入するが、エアコンがあると非常に快適となるため、学校生活や授業へも良い影響があるものと実感した。

委員

学校における新型コロナウイルスの感染防止対策についてだが、2年目となり、感染予防の基本は徹底されている印象を受けた。このような状況においても、学校行事もよくなされており、どの学校でも子どもたちの思い出作りを大事にしたい姿勢が見られた。特に小学校では、体力維持や向上を目的とし、休み時間の過ごし方や体育学習の工夫などに力を入れていると感じた。

I C Tについては、10月、11月頃になると活用の頻度が

高まり、指導主事の先生方の指導が浸透していると感じた。その中で感動したのが、タブレットの効果的な使用方法に関する研究授業をした学校があり、このような取組が全市的に少しずつ広がっていけば、良い方向に向かうものと感じた。また、学校のニーズに応じた研修というのは非常に重要で、教育委員会としては対応が大変かと思うが、できる限り対応して学校を助けていただければと思った。

周年行事にも参加したが、子どもたちが非常に立派で、公の場でどういう立ち居振る舞いをすればいいかよく身に付いていた。今年度、周年行事を計画してくれた学校やバックアップしてくれた教育委員会に対し、このような機会をいただき感謝している。

委員

今年も学校訪問をさせていただいて、教育委員会で予算化されたタブレットやエアコンは実際どのような形になっているか、どう利用されているか等について実際に学校現場に行くとよく分かるため、学校訪問は大切な機会だと思う。

懇談における話題についてだが、ＩＣＴ機器の活用に関するものが多くあり、私も各学校で質問をした記憶がある。ある学校での懇談の際、ＩＣＴ機器を使って説明をする教員の方がおり、子どもたちにＩＣＴ機器の活用が行き渡る原動力のようなものを感じ、非常に頼もしく思えた。

また、学校経営の重点については、「キャリア教育の充実、進路指導」が、校長先生の経営説明から減っており、コロナウイルスの影響でなかなか思うようにできない、というのが反映されていると思った。懇談の中では「キャリア教育推進、進路指導」の話題は上位であり、コロナ禍においてもなんとか繋げていくような努力をしているといった話を各学校の先生からお聞きした記憶があり印象的であった。

懇談における話題の「コロナ対応」が１８ポイントも下がっているのは、適切に対応できるようになってきているためだと感じた。「児童生徒の安全・安心」が８ポイント上がっている

のは、全国的に痛ましい事故があった影響で話題に上がり、学校でも世相に鑑みて緊急点検を行ったりと、学校の取組を伺うことができ、有益であった。

最後にスケジュールの関係だが、午前中に訪問した学校では給食をいただき、どのような給食を食べているかということも分かり、その後に午後の学校訪問に行くというスケジュール自体は特段問題なく、授業を見た後に懇談という順番についても適切である。

教育長 委員の皆さんから多くのご意見、ご感想をいただいた。来年に生かしていただければと思う。

※ 協議事項(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について

教育長 協議事項(4)「令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局から説明願う。

教育研究所副所長 (資料に基づき説明)

委員 本調査をとおして、これまで指導方法の改善ということに一貫して取り組んできており、効果が上がっていると認識している。本調査への参加は私としては賛成である。

委員 これまでも参加しており、経年変化を見ることも大切だと思う。今回はオンラインということもあり、テストケースかもしれないが、今後はこのような形になっていくのかと思う。是非参加をしてどのようなものかということを確認する必要もあるのではないかと思う。参加を希望する。

委員 私もぜひ参加していただきたいと思う。データがなければ検証ができず、将来に生かせないのでぜひ参加すべきだと思う。

委員 本調査は、非常に貴重な調査機会だと思っている。ぜひ参加した方がいいと思う。

教育長 これは、最終的に子どもたちに還元されることであるため、参加すべきだと思う。

※ 異議がなかったため、令和４年度の調査については、参加することに決定した。

※ 協議事項(4)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 令和３年度１１月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和３年度１１月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 令和３年度１１月市議会定例会の予算決算委員会および教育産業委員会は１２月１５日に行われた。

一般会計補正予算案については、市立学校新型コロナウイルス感染症対策事業に質疑が集中し、どのようなものを購入するのか等の質問があった。学校での感染症対策や教職員研修および児童生徒の学習保障に関する経費であり、各校長の判断で購入物品を選定するが、総務課においてもどのような物品かを確認し適切な購入となるよう努めていく旨を回答した。

大型提示装置を購入する件について、令和４年１月に入札を行い、３月に納品というスケジュールだが、半導体不足の影響はないかといった質疑があった。購入に当たっては、対象地域を東西南北と中央の５ブロックに分け、台数を分散させる等することにより、年度内の納品は可能である旨を回答した。

教育産業委員会における「タブレット型パーソナルコンピューターを買い入れる件」については、特に質疑はなく、いずれの件についても、２２日に行われた本会議において、原案どおり可決されている。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 新たな学校安全の取組について

教育長 報告(2)「新たな学校安全の取組について」、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

教育長 議会へも報告したと思うが、何かご意見はあったか。

学事課長 反対意見はなかったが、現在学校に準備している安全用具の備品等は、引き続き準備しておくようご意見があった。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(3)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 浜田小、豊岩小、下浜小の統合検討委員会についてだが、日新小学校の状況を見ながらという案が出ているが、改築はいつ終了するのか。

総務課長 日新小学校の改築は、令和5年と6年の2か年で校舎と体育館を改築し、その後にグラウンドの整備となる。

委員 浜田小、豊岩小、下浜小3校に日新小も統合すること自体は可能か。

教育長 校舎のキャパシティとしては、受け入れそのものは可能である。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 令和3年度「新成人のつどい」の警備について

教育長 報告(4)「令和3年度「新成人のつどい」の警備について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

教育長 市外からの参加登録の締め切りが来週の月曜日までだと思うが、現時点での登録状況はどうか。

生涯学習室長 市外、県外の事前登録の申し込み状況について、昨日時点での申し込み者数が397人で、その内、県外からの申し込み者

が362人、秋田市内に住所がなく秋田県内に住んでいる方が35人となっている。県外の内、一番申し込み者が多いのが東京で64人で、続いて宮城が61人、それに神奈川、埼玉、千葉などの首都圏が続く状況である。

教育長 ワクチン2回接種済みの方が中心となっているか。

生涯学習室長 県外362人の内、ワクチンを2回接種済みの方は303人、割合としては83.7%で8割以上はワクチン接種しているということになる。

教育長 残りの方は陰性証明を持ってくるということか。

生涯学習室長 未接種の方が59人いるが、PCRの検査結果を持参してくる方が24人、2週間滞在の方が35人ということになる。

※ 報告(4)については、以上のとおり終了した。

【その他、事務局からの報告】

総務課長 前回11月定例会で「第4次秋田市教育ビジョンの策定について」、ご審議いただいたが、教職員の多忙化解消に係る取組の状況について、一部空欄のところがあったが調査結果が出たため報告させていただく。

第Ⅲ章「本市教育の現状と課題」の13「教職員の多忙化解消に係る取組の状況」についてである。「1日あたりの教諭の平均労働時間」の令和3年度の平日および休日の結果について、「多忙感・多忙化に関する意識調査」および勤務時間管理簿の調査結果が出たことを受け、赤字のとおり追記した。

平日の平均労働時間について、勤務時間は小学校9時間21分、中学校10時間18分、時間外勤務は小学校1時間36分、中学校2時間33分、持ち帰り仕事は小学校が26分、中学校22分となっている。

休日の平均労働時間について、出校時間は小学校0分、中学校2時間50分、自宅での勤務は小学校49分、中学校46分となっている。本市では平成31年度に多忙化防止計画を策定している。その後各校においてもそれぞれの実情に応じた多忙化防止計画を策定し、それに基づく業務改善を行っている。取

組が実効性のあるものとなるよう引き続き支援に努めていく。

【その他、委員からの報告】

※ 委員一名から、任期終了に伴う挨拶があった。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 1月定例会の日程についてお知らせする。1月定例会は、1月26日（水曜日）午後3時30分を予定している。

教育長 1月定例会は、1月26日（水曜日）午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、日程調整をよろしく願います。

午後5時20分閉会